

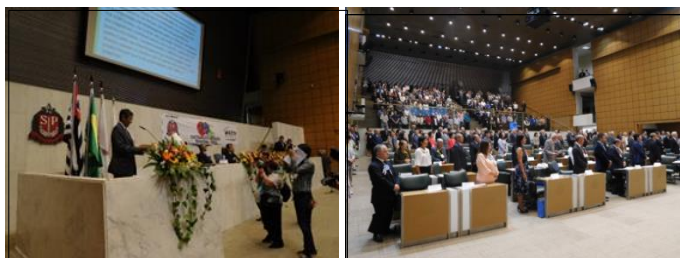
国際課活動レポート

◆和歌山県人ブラジル移住 100 周年記念式典・アルゼンチン県人会訪問（10月27日～11月3日）

仁坂和歌山県知事、県議会、県国際交流協会、県中南米交流協会、わかやま南北アメリカ協会等から構成される訪問団総勢34名が、ブラジル（サンパウロ、サントス）、アルゼンチン（ブエノスアイレス）を訪問しました。

サンパウロでは、和歌山県民がブラジルに移住してから100周年であることを記念したブラジル和歌山県人会の式典に出席し、本県出身者やその子弟、約500名と今日の繁栄を築かれた先人の功績・遺徳を顕彰しました。また、本県出身者が初代会長を務めたサントス日本人会を訪問し、移住した方々と交流を行いました。

ブエノスアイレスでは、日亜両国の文化を継承する人材の育成を目標として運営されている学校を視察したほか、在アルゼンチン和歌山県人会と交流を図り、和歌山県と本県出身者・子弟との絆をさらに深めました。



ブラジル移住100周年記念式典の様子



日亜学院視察

◆和歌山移民展（9月8日～3月上旬）

和歌山県からの海外移住は明治初期のハワイからはじまり、以後、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリア、ブラジルなどへ多くの人々が渡り、海外移住者数は、広島、沖縄などについて第6位。和歌山にルーツを持つ人々は世界各地で故郷の文化や伝統を守り続け、移住先の国と和歌山県との架け橋ともなっています。

一方、現在では「移民」という言葉になじみが薄くなり、和歌山から世界各地に渡った先人の存在を知る機会がほとんどありません。移民の歴史を認識、継承してもらうため、県内において写真パネルによる巡回展を開催しています。

みなさんも是非お近くの会場で和歌山移民の歴史に触れてみてください。

【開催場所・日程】

展示施設	開催日時
紀の川市打田生涯学習センター	11/28(火)～12/5(火)
スーパーセンターセントラルシティ和歌山店	12/8(金)～12/15(金)
オークワ南紀店	1/12(金)～1/19(金)
和歌山県立情報交流センター ビッグU	1/23(火)～1/30(火)
オークワパームシティ和歌山店	2/2(金)～2/8(木)
太地町立石垣記念館	2/16(金)～2/21(水)
和歌山県国際交流センター	3月上旬

◆ベトナム経済ミッション来県(10月16・17日)

新たなビジネス展開先、投資先として注目を集めるベトナム。そのベトナム南部メコンデルタ地域に位置するカンター市及びロンアン省から経済ミッションが来県されました。県内外からベトナム進出に興味を持つ多くの企業の参加を得て経済セミナーを開催したほか、県内の企業などを視察しました。



異文化体験記 ◎今回は山東省外事弁公室から和歌山県へ研修で来県されている崔さんによる「異文化体験記」です。

皆さん、こんにちは。山東省から和歌山県に派遣されている崔璐と申します。10月より3ヶ月の研修で来県しており、最初の2ヶ月は月曜日から木曜日まで和歌山大学大学院経済学研究科で授業を受けさせていただいています。今回の異文化体験記では、日本と中国の大学の違いについて紹介したいと思います。

まず、規模的に言いますと、中国は国全体の人口が多いため、大学の規模も日本より大きくなります。山東大学を例と言いますと、6万人もの在校生と8000人近くの教員がいて、8つのキャンパスを持っています。



山東大学メインキャンパス

また、中国の大学生は基本的に学校の寮に住んでいます。一人部屋ではなくて四人部屋が一般的です。外国人留学生は一人か二人部屋の場合が多いです。学校から見れば、安全面も含めて生徒に対しての全体管理も便利です。生徒同士で共に勉強して、暮らして、社会人になる前の貴重な集団生活の体験にもなります。

日本の大学生はバイトするのが一般的で、ほぼすべての生徒はバイトしていますが、これは収入源になるだけではなく、社会勉強としても自分を成長させてくれる機会になります。中国では、大学生より院生のほうがバイトする機会が多くて、基本的には塾か専門学校の非常勤講師、会社の非常勤社員、外国語専門の学生ならフリーの通訳、という感じです。

大学生で家庭教師やレストランなどでバイトしている人もいますが、大多数は勉強に専念します。

進路面では、日本の学部生は、卒業したら大学院へ進学するより就職を選択する学生のほうが圧倒的に多いと感じますが、中国では大学院まで進むケースが圧倒的に多く、むしろ大学院へ進学できなかったから就職を選ぶということが多いです。

ここ数年、海外経験を求める学生が増え、親たちも自分の子供が海外で国際経験を積んでほしいと考え、留学する現象が際立っています。和歌山大学でもたくさんの中国人留学生が在学していて、将来、日本に残って就職する子も結構います。

和歌山大学で学ぶのは、あっという間に残り二週間となりました。和歌山県庁、そして和歌山大学の皆さんが綿密な課程表を組んでくださり、貴重な体験ができ、本当に感謝しております。今後も和歌山大学で習った経済学の知識を通訳と国際交流の仕事に生かしたいと思います。また、山東省内の大学と和歌山大学の交流がますます活発になるよう願っています。



寮の部屋の様子

ゲストコラム

◎和歌山県内在住の外国人の方や、和歌山県を訪れた外国人の方に和歌山や出身地についてご紹介いただくコーナーです。前回に引き続き、今回もアジア・オセアニア高校生フォーラムの海外参加者に、和歌山の印象や出身地の紹介などを語っていただきました。

● 台湾 生徒 Li-Ting Chen (リーティン・チェン) さんより

出身地の紹介：台湾は東アジアにあり、太平洋の北西端に位置しています。気候はとても蒸し暑いですが、そのおかげで情熱的で心温かく、寛大な性格の人が多いです。台湾に来たら必ず訪れて欲しいのは夜市です。牡蠣のオムレツや人気のタピオカミルクティー、有名な臭豆腐など、地元の食べ物を楽しめるだけでなく、人々の温かさを感じることができます。玉山、阿里山、日月潭などもおすすめの観光地です。伝統的な寺院で、人気の歌仔戯（台湾オペラ）や有名な人形劇を鑑賞するのもよいでしょう。このように、台湾には観光地としてさまざまな独特の魅力がありますので、一度行ったら何度でも再訪したくなります。そして、いつ訪れてもきっと充実した時間を過ごせるはずです。

和歌山で印象に残ったこと・出身地との違い：和歌山では道路がとてもきれいで、ほとんどゴミが落ちていませんでした。和歌山の夏はとても暑く、台湾とよく似た気候でした。一方、車の運転については、台湾は右側通行ですが、日本は左側通行なので、最初は皆が道路を逆走しているように思えてしまいました。

メッセージ：皆さん、この記事を読んでくださってありがとうございます。また、



夜市